

## 海況速報

平成 14 年度 第 1 号 (通算 No.85)  
平成 14 年 5 月 10 日  
北海道立水産試験場



内容についてのお問い合わせは  
中央水産試験場 海洋環境部  
Tel 0135-23-4020

海洋環境部ホームページでもごらんになれます。

アドレス：<http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/exp/central/kaiyou/>

## 4 月上旬から 4 月下旬の海況

日本海海域

### 津軽海峡西方暖水渦

津軽海峡西方 (100m 層水温で 9 以上) と岩内西方沖 (100m 層水温で 8 以上) に暖水渦があります。本道西岸の対馬暖流はこれらの暖水渦の西方を北上しています。留萌沖定線以北では沿岸部を北上する流れと、西方沖合へ蛇行する流れに分岐し北上しているようです。水温についてみると、( 平年偏差表参照 ) 全般に沿岸域が平年より高く、沖合域で平年より低い傾向となっています。昨年 4 月と比較すると、0m, 50m 層では 2 程度高いところが多くなっています。余市における 2 月下旬以降 4 月下旬までの沿岸水温 ( 旬平均 ) は、2 月下旬の「やや高い」から 4 月下旬まで「かなり高い」で推移しており、特に 4 月は高く推移しました。

道東太平洋海域

### 親潮は平年並み

道東海域は広く親潮におおわれ、水温は全般に平年並みとなっています。暖水塊が北緯 40 度東経 144 度付近 (200m 層水温 6 以上) にみられます。衛星画像で見ると、この暖水塊の南方 ( 宮城県東方はるか沖 ) にある別の暖水塊から、暖水の腕が北方の暖水塊へ伸びています。親潮はこの北方の暖水塊の東側を南下するものと、襟裳岬から暖水塊の西側を東北沿岸へ張り出すものが見られます。

道南太平洋海域

### 津軽暖流は沿岸モード

津軽暖流は沿岸モード (\*2) で東北沿岸を南下しています。襟裳岬から室蘭付近まで、沿岸側は表面水温 4 以下の沿岸親潮 (\*1) でおおわれています。道南太平洋の 100m 層より浅いところの水温は、全般的に高めになっています。

オホーツク海海域

### 宗谷暖流順調

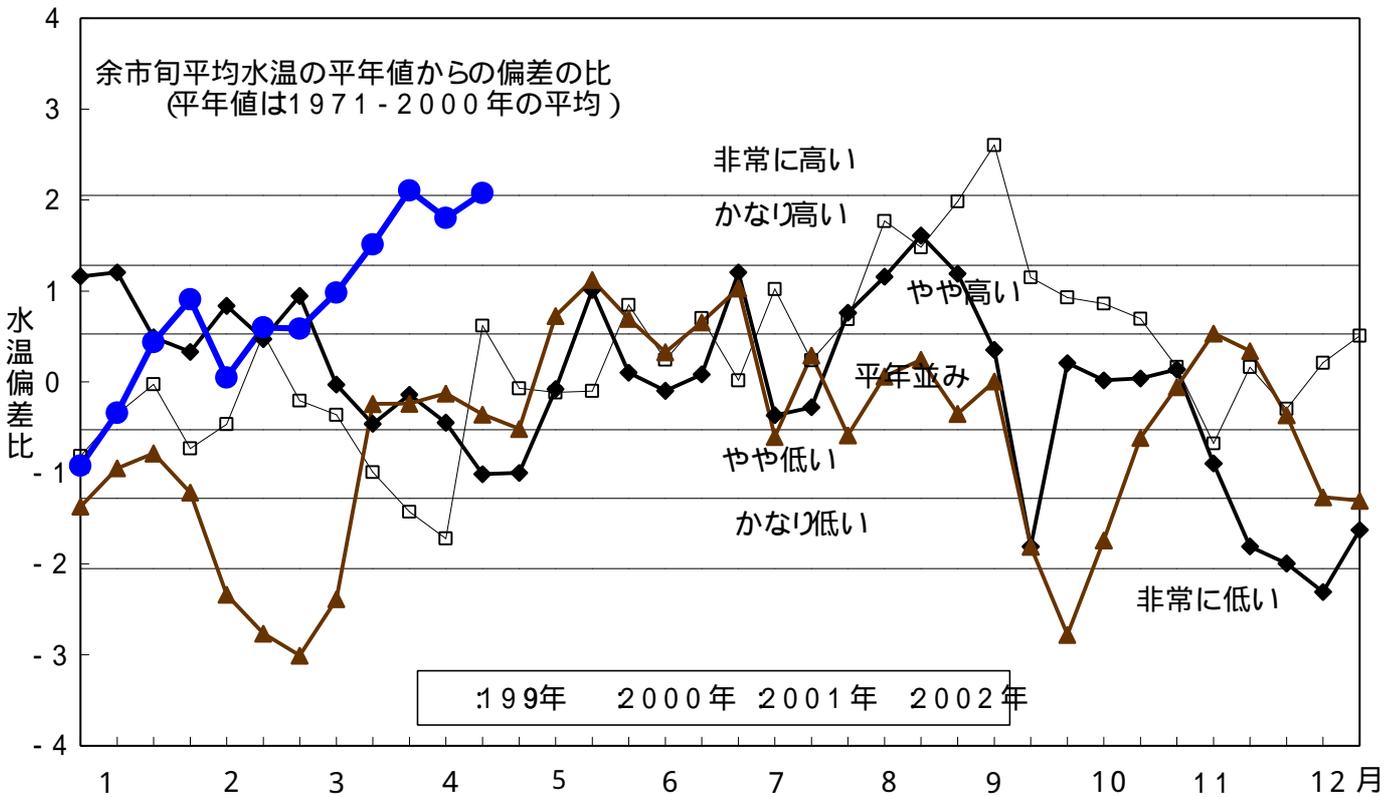
表面水温 6 以上の海域は網走沖まで達しており、50m 層でもサロマ湖沖まで 3 以上となっていることから、宗谷暖流は例年より時期的に早く浮上し、順調に流れ始めたようです。水温についてみると、表層は全般に平年に比べ高くなっていますが、50m 層水温では、宗谷海峡から紋別沖でやや高くなっています。

\*\*\*\*\*

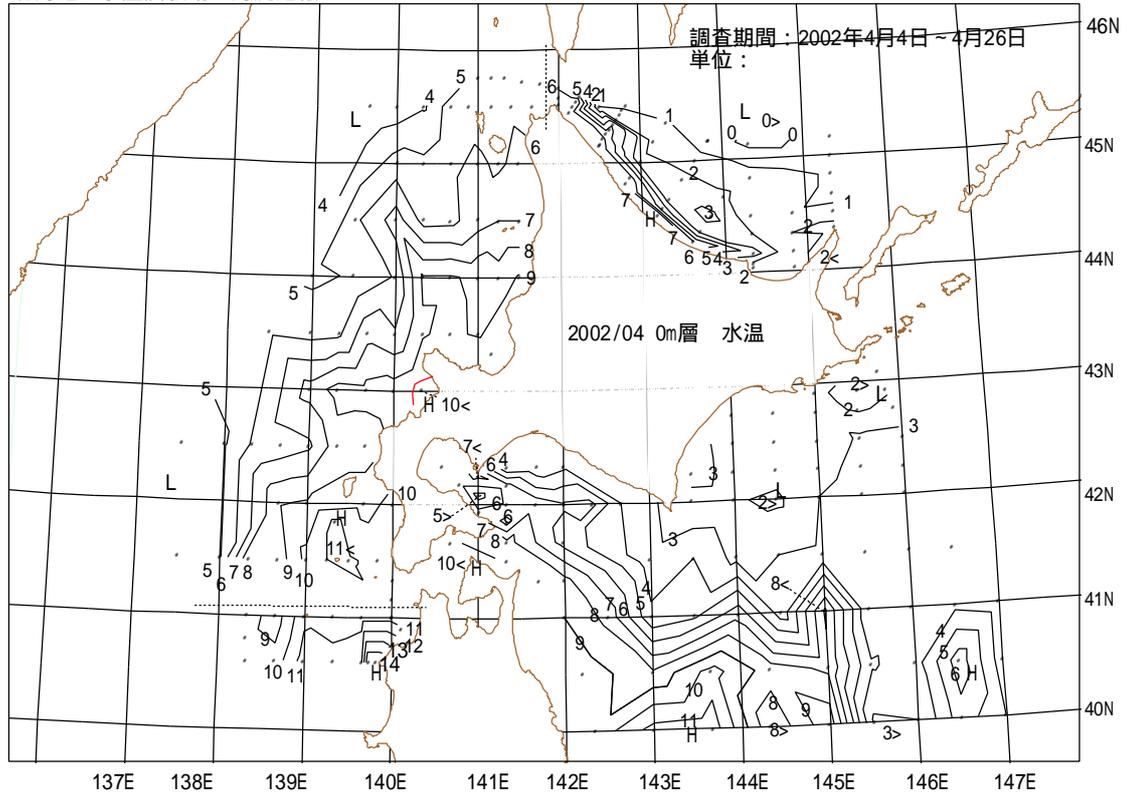
資料	観測期間	
青森水試（東奥丸）	平成 14 年 4 月 4 日から同 4 月 5 日	（東北日本海海域）
稚内水試（北洋丸）	平成 14 年 4 月 10 日から同 4 月 12 日	（道北日本海海域）
稚内水試（北洋丸）	平成 14 年 4 月 15 日から同 4 月 17 日	（オホーツク海海域）
釧路水試（北辰丸）	平成 14 年 4 月 16 日から同 4 月 22 日	（道東太平洋海域）
函館水試（金星丸）	平成 14 年 4 月 15 日から同 4 月 16 日	（道南太平洋海域）
函館水試（金星丸）	平成 14 年 4 月 25 日から同 4 月 26 日	（道南太平洋海域）
中央水試（おやしお丸）	平成 14 年 4 月 16 日から同 4 月 23 日	（道西日本海海域）

\*\*\*\*\*

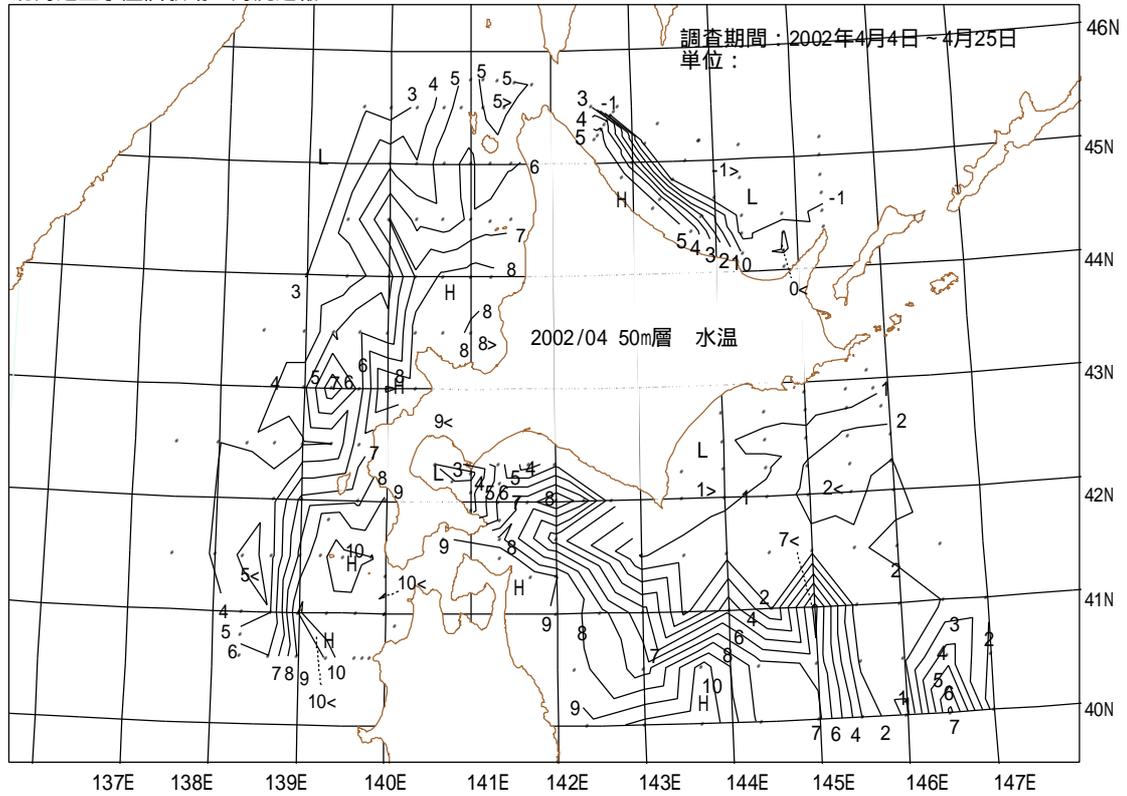
- \* 1 : オホーツク海の海水の融氷水を含む親潮として特に沿岸親潮という名前が付けられています。
- \* 2 : 津軽暖流が津軽海峡から襟裳岬まで大きく張り出してから南下している状態を「渦モード」と呼びます。これに対して、津軽暖流が青森県尻屋埼からすぐ岸沿いに三陸方面へ南下している状態を、津軽暖流の「沿岸モード」と呼んでいます。



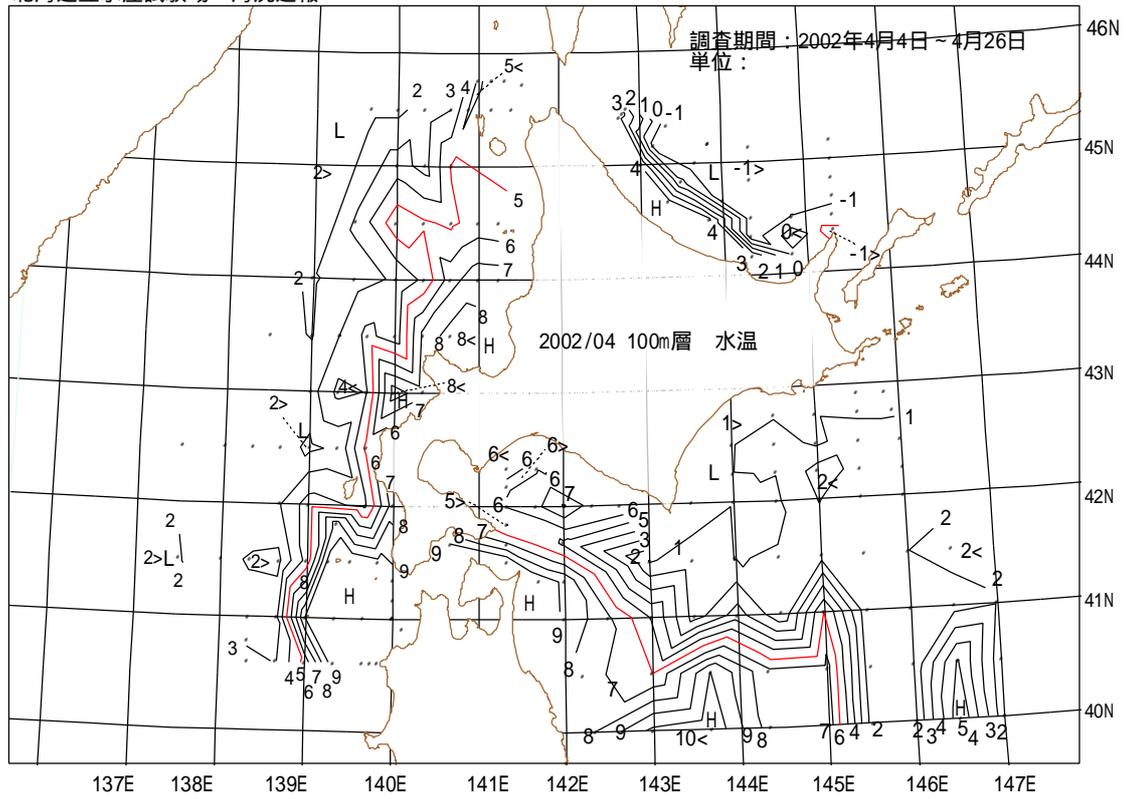
北海道立水産試験場 海況速報



北海道立水産試験場 海況速報



北海道立水産試験場 海況速報



北海道立水産試験場 海況速報

